

地域支援可能シーズのタイトル：

防災教育を通じた防災まちづくり，地域と連携した通学路安全対策



(ふりがな) 氏名	めやま なおき 目山 直樹	E-mail	meyama@tokuyama.ac.jp
		電話番号	0834-29-6334
		FAX番号	0834-29-6334
職名	准教授	学位・資格	工学修士，技術士（建設部門）
所属学会・協会	日本都市計画学会，日本建築学会，土木学会，日本技術士会など		

地域支援可能シーズの名称および概要

【1. 防災教育を通じた防災まちづくり】※1

1) 小学校・中学校向けの防災教育

自然災害の科学（土砂災害，水害など）と災害時の避難行動（ハザードマップを活用した演習）を指導。2 時限の出前授業，30 人程度の 1 クラスに対応。講演会形式の場合，最大 100 人，20 班に対応。

2) 自治会単位の住民向け防災講演会

自治会・町内会・自主防災組織単位の住民向けの防災講演会の講師。10 人程度から 100 人程度まで。30 分から 2 時間で相談に応じる。また，防府市ならびに光市で自主防災リーダー講習会講師実績あり。

3) 学校教育担当者向けの防災講演会

市内小・中学校の教頭・安全担当教員に向けた防災講演会の講師。防府市，宇部市教育委員会主催で実績。

4) 総合的な学習の時間を活用した連続的な防災教育

下松市立久保中学校で 4 年継続して防災教育を実施中。平成 25 年度に 5 回連続の防災教育と避難訓練の組み合わせによる独自の教育プログラムを考案し，教育効果を検証中。GPS カメラを活用した防災マップの作成等。

【2. 地域と連携した通学路安全対策】

1) 学校・地域社会と連携した通学路の安全対策【山口県通学路安全対策アドバイザー】

学校運営協議会を核にして，地域社会と行政機関と連携した通学路安全対策の取り組みをコーディネートする。平成 25 年度より，住民参加による通学路の安全対策の取り組みを周南市勝間小学校区で展開中。

2) 小学校・中学校向けの通学時の交通安全教育

児童・生徒向けの交通安全講話の実施とアンケートによる効果の計測を継続的に実施中。



写真-1 土石流実験水槽



写真-2 ハザードマップの演習



写真-3 GPS による防災マップ作成



写真-4 交通安全講話のようす

適用実績

平成 22 年度より令和 5 年 3 月現在までに，約 16,000 人の児童・生徒に防災出前授業を実施済み。
平成 26 年度より山口県砂防課と砂防出前授業について共同研究を実施中。
平成 25 年度より山口県通学路安全対策アドバイザーとして活動中（交通安全講話の講師）。
平成 25 年度より令和 5 年 3 月建材までに，約 10,000 人の児童・生徒に交通安全教育を実施済み。

提供可能な設備・機器・解析ソフト・教材・ビデオ・PPT 等の名称・型番（メーカー）及び概要

※1 土石流実験水槽（800×100×10mm） 10 台

土石流実験水槽（650×100×10mm） 台